

校訓
「健康 誠実 努力 創造」

学校教育目標
～夢・チャレンジ・実現～「希望に向かって挑戦する明るく力強く生きる生徒を育てる」

令和8年度 経営の重点

安心・安全な学校（信頼される学校）

- 1 生徒の人権尊重（体罰、不適切な指導の皆無）
- 2 教育公務員としての自覚と責任（服務規律の遵守）
- 3 災害、感染症等、危機管理体制の整備・充実
- 4 個人情報保護の徹底 及び 適切な情報管理
- 5 発達支持的生徒指導の充実（いじめ、不登校の未然防止）
- 6 適切な予算要望と執行施設、設備の計画的かつ適切な維持、管理

学校経営方針

- 1 限られたリソースの有効活用（人・物・予算・時間）
- 2 教職員の服務規律遵守（社会からの風を意識して）の徹底
- 3 教職員の専門性の向上（学び続ける教職員集団）
- 4 地域におけるセンター的機能の発揮
- 5 地域や関係機関と連携した学校づくり（学校運営協議会）
- 6 実効性のある業務の効率化、統合（授業の充実と合致する働き方改革）

教育指導方針

- 1 卒業後の「自立と社会参加」を目指す生徒への生活に根ざした指導の充実（生徒が主体的に人とつながる、生徒が他者との協働を通して自己理解、自己肯定感、自己有用感、意欲等を深める）
- 2 個別最適な学び（自学自習）と協働的な学び（集団）の充実につながる指導、支援
- 3 発達支持的生徒指導による指導、支援（教育活動の充実、ピアサポート）
- 4 地域等の人材資源を積極的に活用した教育の推進
- 5 指導と評価の一体化（不断の授業改善、PDCA）

今年度の重点

「教育課程の改善・充実に向けて（学習指導要領、校内研究等をベースとして）」

～生徒一人一人が主体的に自らの役割を果たしより良く生活するために～

- 自立と社会参加を見据えた資質・能力の育成
- 地域や関係機関と連携した教育活動
- 生活や社会とのつながりを重視した学びの充実（生活に根ざした学び）

“挑戦と改善”（trial and error）

学校経営の重点（実践事項）

- 1 教育課程の評価、改善 及び 授業の改善と充実（検討委員会）
- 2 心理的安全性（話しやすさ、助け合い、挑戦、新規歓迎）
- 3 地域や関係機関とのつながり・連携のもと地域の物的・人的資源の有効活用による生徒の学びの充実（生きた授業）
- 4 教育活動等の適切な情報発信（学校行事を含む）
- 5 センター的機能の発揮
- 6 学校運営協議会（対話、協働）の機能充実と地域とともにある学校づくり
- 7 教職員の同僚性を発揮し協力・協働による業務の推進及び精選、移行（分掌組織の業務精選、改編等）
- 8 報告・連絡・相談・確認の徹底（円滑な業務推進、リスクマネジメントとクライシスマネジメント）

教育指導の重点（実践事項）

- 1 「なぜ、何のために…」がわかり「わかった、またやりたい、もっとやりたい…」と思う授業の充実（日常生活とのつながり、深い学び、問題解決的な学習）
- 2 人（仲間）とつながり互いの良さを認め合い発揮し、共に活動することを通して、学ぶ意欲や働く意欲を培い、自己肯定感や自己有用感を育む授業の実践（作業学習：精選しながら作業内容の工夫（生徒が人とつながる、ひろがる）を図ることなど）
- 3 生きやすさ、学びやすさのために主体的に取り組む自立活動の充実
- 4 生徒一人一人の障がいの状態や発達段階に応じた ICT の活用による個別最適な学び（自学自習）と協働的な学び（統合）の充実
- 5 （幼・保）小、中との交流及び共同学習の推進（協働活動）
- 6 生徒の意欲を高める「分かる通知表」の在り方について模索（学習評価を通じた授業の改善）
- 7 適切な情報の取得と活用のスキルの向上（教育活動全般を通じた情報活用能力のさらなる育成）
- 8 寄宿舎における生活指導、余暇活動の充実（QOL の向上）

ウェルビーイングの実現、向上（安心、信頼、楽しさ、喜び、意欲…）

校内研究、研修の推進

令和8年度 研究主題

生徒が「確かな学力」と「自立に必要な力」を身に付けるためのカリキュラム・マネジメントの充実（2カ年計画）
～学校教育目標実現に向けた教育課程の改善（2年次）～